



(一財)松本ものづくり産業支援センター

NEWS

第13号

令和6年11月発行



経営革新事例研究会 (R6.7.17)

関連記事 4P



「脱炭素経営の進め方 in 松本」

(R6.8.1.2) 関連記事 6P



「AIで話すキャラクターづくりワークショップ」

(R6.7.25) 関連記事 12P

ものづくり産業支援のワンストップサービスを目指します

1 アドバイザー・コーディネーターの紹介…………… 3P

2 活動トピックス

 ものづくり支援担当…………… 4～8P

 杉本 守 アドバイザー

 豊口 稔 コーディネーター

 広橋 修 コーディネーター

 相吉 一浩 コーディネーター

 I C T 支援担当…………… 9～10P

 野尻 和彦 コーディネーター

 宮島 正孝 コーディネーター

3 サザンガクからのお知らせ …………… 11～12P

4 補助金のお知らせ …………… 13～15P

5 入居企業募集のお知らせ …………… 15P

関係機関 (市外局番 0263)

……………

松本市 産業振興部 商工課 工業振興担当/健康産業推進担当
TEL34-3270 FAX34-3008 TEL34-3296 FAX34-3297

……………

松本市 産業振興部 農政課
TEL34-3221 FAX36-6217

……………

松本商工会議所 中小企業振興部ものづくり支援グループ
TEL32-5350 FAX32-1482

……………

信州大学 研究推進部 産学官地域連携課
TEL37-2087 FAX37-3049

……………

(公財) 長野県産業振興機構 松本センター
TEL40-1780 FAX47-3380 (長野県松本合同庁舎内)

……………

1 アドバイザー・コーディネーターの紹介

専門性の高い6名(ものづくり支援担当4名、ICT支援担当2名)のアドバイザー・コーディネーターを配置し、地域の中小製造業の皆様へのきめ細やかな支援を実施しておりますので、ご活用ください。

ものづくり支援担当



杉本 守 アドバイザー

松本市工業ビジョンの見直しを受け、ビジネスマッチングなど経営力向上に向けた経営支援全般や各種補助金申請支援だけでなく、生産性向上や人手不足対応を狙いとしたDX技術の推進を支援いたします。

- ① マッチング支援など経営力向上に関わる支援全般
- ② 新技術開発、新商品開発、新事業開発支援
- ③ 国、県、市の各種支援制度の申請支援
- ④ DX (IoTによるものづくり工程の見える化、工程改善～専用機～ロボット導入による自動化)に関する支援



豊口 稔 コーディネーター

松本市工業ビジョン中間見直しの5つの重点推進事項を念頭に、企業の皆様と課題を共有して、商品開発から販路拡大まで支援を行います。また、関係機関と連携して新たな課題(人材、DX、GX)に対応、見える化支援 などに取り組んで参ります。

- ① 企業間の強みを結び付け、新価値創造を支援
- ② 食料品産業、伝統的産業などの商品開発・販路開拓支援
- ③ 各種展示会出展支援、新規市場開拓支援



広橋 修 コーディネーター

松本市工業ビジョンが示す「松本市の特性を生かした新たな活力の創造により高い競争優位性を持った地域」を目指し、5つの推進事項を推進するため、最もベースとなる「人材」と「現場力」・「製品力」の強化に向けた支援を行います。

- ① 製造拠点の現場力強化(QCD+PSME)支援
- ② 製品力強化(新技術・新製品開発、ビジネスマッチング)支援
- ③ 次世代を担う、ものづくり人材の育成支援



相吉 一浩 コーディネーター

現在、多くの企業が業態を変革し、生き残る道を探さなければならない時代、自分自身も常に新たなことにチャレンジし、地域企業の皆様と、世の中になく製造現場を目指し、その先にはそれぞれの企業のお客さまの期待を超える、新しい価値創出の実現に向けて、支援してまいります。

- ① IE技術を活用し、製造力強化(工場/工程設計、自動化/合理化/省人化等)支援
- ② 次世代ものづくり人材の育成
- ③ 企業連携による、新たな価値創出に向けた支援

ICT支援担当



野尻 和彦 コーディネーター

DX・デジタル化の推進を実現するため企業内業務の課題を把握し、ICTをうまく活用することによる改善策を検討・検証し課題解決できるようご支援していきます。

ICT*に関連する新しい名称・キーワード・製品情報など日々のニュースなどでも毎日のように報道されています。リスキングのテーマはもとより、企業活動に必要な技術や能力を高めていき、最終的には企業変革につなげていく分野になります。

- ① DX活動に向けてデジタル化診断等を活用した現状把握と課題の整理
- ② アナログからデジタル化促進、デジタル化されたデータ分析・活用の支援
- ③ 経営者向け、一般社員向け、小中高生向けなど、対象別にセミナー、研修会等を開催
- ④ サザンガクにおける企業活動の活性化及び起業、創業、事業発現支援
- ⑤ ホームページ開設、ウェブショップ開設、OAソフト活用などICT関連支援
- ⑥ ウェブやメールによる各種施策、研修会情報等の情報発信・情報提供など



宮島 正孝 コーディネーター

※ DX(Digital Transformation) デジタル化により社会や生活の形・スタイルが変わること

※ GX(Green Transformation) 温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電などのクリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体を変革しようとする取り組み

※ ICT(情報通信技術): Information and Communication Technology

2 活動トピックス

ものづくり支援担当

杉本 守 アドバイザー

経営革新事例研究会 第10回

7月17日(水) 10:30～17:30

下伊那郡高森町 (株)協和精工 ご講演者 代表取締役社長 橋場 浩之 様 24名参加

(株)協和精工様は、精密部品加工と電磁ブレーキの設計・製造を行っており、この技術を元に部品調達を含めた組立アッセンブリへもチャレンジされています。また、受託型企业から自律開発型企业への変革を目指す10年ビジョンを掲げ、営業職を置かないという経営姿勢にも関わらず、地震計や宇宙などの新領域に向けた新製品開発も受注されています。

(株)協和精工 橋場浩之社長のご講演・工場見学を行い、活発な質疑応答がされました。

- ・何故、津波・地震センサー計（海底埋設）を受注できたか？⇒経営層の人脈で受注
- ・営業職を置かないという経営姿勢について⇒技術屋が直接顧客と話すためその場で受注し直ぐに設計を始める。

俺が俺がではなく、確認しあい、意見を聞きあうお節介文化や月一全員参加の全体朝礼で経営状況を全員で共有化するなど風通しの良い企業文化が協和精工様の本質的な強みだと理解しました。



今の協和精工を築いたものは

➤人とのつながり ⇒ 人脈が全ての始まり
コンサルでは無く、理念を共有し、先の夢を一緒に語り、共に戦う同志として。

- ・大手企業出身、仕事大好きOB
- ・派遣社員だった開発技術者
- ・紹介からつながったインド人青年
- ・キャリア採用社員
- ・各大学教授（東大・東工大・信大・豊橋技科大）



(株)協和精工 部品加工ライン



組み立てライン

オムロン京都太陽(株) オンライン工場見学会 ～障がい者向けの改善を学ぶ～

8月27日(火) 13:30～15:30

ご講演者 CSR 課主査 荒井 様

オムロン京都太陽(株)は障がい者の働く場づくりをすすめてきた太陽の家とオムロン京都が共同出資し1985年に設立した企業です。障がい者が仕事を持ち自立することを目指しています。従業員数186名中、障がい者は115名で約1500機種の製品を生産、初年度から黒字経営です。障がい者の一人ひとりの持っている能力を最大限生かすという考えのもと、作業環境の改善や治工具・補助機器の導入を進め、知恵を結集して他社にはない独創的なモノづくりの方法を生み出しています。この度、松本地域中小企業向けに「改善に関わる講演会」を開催することを目標とし、支援スタッフに向けてオムロン京都太陽様の改善活動を学ぶオンライン工場見学会を開催することができました。

多くの改善事例が紹介されましたが、その中で改善ポイントを見出す一事例をご紹介します。手に障害がある人を想定し、健常者が敢えて「手袋」をつけ、袋にパーツを入れる作業をしてみます。上手く作業ができない場合は×、問題なく作業ができる場合は○、その中間は△と表示しています。

- ① 袋を取る ×
- ② 袋を開ける ×
- ③ パーツを入れる △
- ④ 封をする ○

袋を取り、袋を開ける作業が「手袋」をすると上手くできないことが分かりました。

- ・上のようにプロセスを分解して手袋(障がい者と同じ環境)で作業すると何が課題か見えてきます。
- ・そしてこの障がい者が上手くできなかったプロセスを重点的に治具や補助具を設計・製作されているとのことです。また、この設計・製作に障がい者自らも参加することも重要なポイントです。

障がい者向けの改善事例を紹介しましたが、このプロセスは、そのまま健常者向けにも使える改善手法であると思います。

中小企業大学校サテライトゼミ「脱炭素経営の進め方 in 松本」を開催しました！

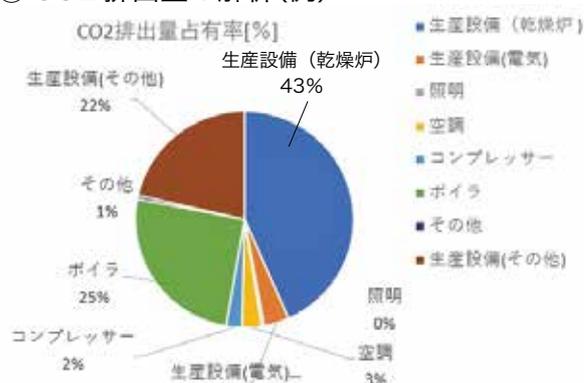
～自社のカーボンニュートラルを本気で考える～

令和6年8月1、2日の2日間にかけて中小企業大学校サテライトゼミ「脱炭素経営の進め方 in 松本」～自社のカーボンニュートラルを本気で考える～を開催いたしました。講師は、合同会社サカタ経営代表社員 坂田 卓也 氏。本研修では、①カーボンニュートラルが求められる背景を詳しく理解 (SWOT 分析)、②自社の CO2 排出量の解析を基に③脱炭素計画の策定～対策の検討～ロードマップの策定まで、自社のアクションプランを作成し、脱炭素経営への一步を踏み出しました。

【ポイント1】CO2 排出量を見える化することで、どこから手をつけたら効果的かがよく解る

①脱炭素経営を始める理由を考える SWOT 分析(例) ② CO2 排出量の解析(例)

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	Strength (強み) 競争力の強化 コスト削減 ブランドイメージの向上 資金調達の優位性 社員のモチベーション向上	Weakness (弱み) 初期投資の必要性 新しい技術の導入や運用に関する課題 短期的な利益圧迫
外部環境	Opportunity (機会) 新市場の開拓 規則対応の強化 サプライチェーンの強化 社会的責任の遂行	Threat (脅威) 競争の激化 規制の変化 技術の進化 (継続的な投資)



※特に 2030 年移行の事業環境を予測する

【ポイント2】脱炭素補助主要3事業 その他にも各自治体等からの情報入手をお願いします。

(環境省)「工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業」(通称: SHIFT 事業)

(経産省)「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業」

(中小企業庁)「事業再構築補助金(グリーン成長枠)」

※最新の公募内容・募集期間等は、各事業の HP より入手してください

赤外線サーモグラフィーカメラなどで省エネ診断“見える化”に取り組みませんか？



(事例) オフィスの断熱箇所の把握



(事例) 回転体の発熱状況の把握

広橋 修 コーディネーター

5S導入セミナーを開催しました!

9月4日(水)に松本地域産学官連絡会および松本ものづくり産業支援センター主催の5S導入セミナーを開催しました。コロナの影響もあり5年ぶりの開催でした。

講師にマッケン・キャリアコンサルタント(株)の宮下和典氏を迎え、「本気で取り組む製造現場の5S導入セミナー～経営TOPの役割～」というテーマで開催しました。

会場は松本ものづくり産業支援センターで聴講者19名の参加でした。活発な質疑応答が行われ、盛況に終わりました。



安全体感教室のご案内

松本市に県内で数少ない「安全体感教室」があるのをご存じですか？ 労働安全コンサルタントによる専門知識による講義と体感設備を用いた危険感受性を養う所です。

半日(3時間)コースで、8分類24項目の体感教育のメニューから受講企業の業種に合わせたカリキュラムで実施しています。危険を安全に体感することで危険感受性が身に付き、労働災害低減に寄与できると思われます。



労働安全コンサルタントによる講義



高所危険体感



回転体巻き込まれ危険体感

長野県松本市大字笹賀5652-102 (大久保工業団地内)
MIW 研修センター 安全体感教室係 (運営 株松本鉄工所)

TEL 0263-87-5061、FAX 0263-87-5071、
Eメール anzentaikan@k-miw.co.jp
(受講可能月:4~7月、9月、10月、受講可能日:火曜、木曜、募集定員:3~8名)

相吉 一浩 コーディネーター

N社さま改善支援

世の中の状況が変化し、市場規模が小さくなっていく中、後発のコンペ企業が多数参入し、QCDで優れた商品が次々に登場してくる為、これまで通りの市場を確保する為には、原価割れも覚悟での販売が余儀なくされている。

一刻でも早く、勝てるコストを作り込み採算が取れ、市場で生き残れるようにしていきたい、との強い想いを伺い、工程改善の支援を開始しました。

対象製品を絞り込み、工場内でどのような【ものの流し方】をしているのか？について、レイアウト分析や動線分析、そして仕掛在庫に対する考え方や実数調査を通じて、淀みの無いものの流れが実現出来るような生産計画が練られているか？など、多岐にわたる調査・分析を実施しました。

特に動線分析を行う際には、【一步（男性：70cm、女性 60cm）＝一秒＝一円】をご理解頂く事により、一步の重要性に気付いて頂けたと思います。

また、複数の機械を使つての作業になるので、あまり馴染みの無い【連合作業分析表】の作成にも取り組んで頂き、これによって人と機械の動きの関係を可視化し、改善箇所を炙り出す事を体感して頂きました。

連合作業分析

連合作業を行なう「人と人」または「人と機械」の作業状況を、「単独作業」「連合作業」「不稼働」の各性質に区分してチャートに表し、ロスや改善のねらい目を明確にする手法

連合作業分析表					改善前		
製品名				日付			
作業名	大型プレス作業			サイクルタイム	118秒		
時間(分)	プレス機	作業①	作業②	作業③			
30	停止	材料搬入	12	ホイス操作	12	手持ち	12
		次の材料入れ	8	ホイス操作	12	部材のせ	12
60	プレス上下及びプラットフォーム水平	テープに部材名記入	12	曲げライン合わせ	20	曲げライン合わせ	20
		手持ち	12	手持ち	8	手持ち	8
90	プレス機	プレス操作	54	修正合わせ	12	修正合わせ	12
		手持ち		手持ち	22	手持ち	22
120	停止	検査して製品にテープを貼る	12	ホイス操作	12	製品引き出し	12
		製品搬出	8	手持ち	12	手持ち	12
				ホイス操作	8	製品搬出	8
稼働	54秒(45.8%)	108秒(89.8%)	76秒(64.4%)	64秒(54.2%)			
不稼働	64秒(54.2%)	12秒(10.2%)	42秒(35.6%)	54秒(45.8%)			

稼働	単独	連合	不稼働

このように N 社のご担当された役員以下数名の皆さまが、一緒になって調査・分析を行った事で、非常に短期間（約 1 カ月）にて勝てるコストが実現出来る工程改善の道筋をつける事に成功しました。主な効果としては以下のようなものがあります。

- ・大ロット流動方式から小ロット流動方式化する事により
⇒ 製品 L/T 及び仕掛在庫、1/10 以下を実現
- ・機械のレイアウト見直し、工程組み換え等を実施する事になり
⇒ 工数が 1/4 程度に削減

これからも多くの企業さまと協働して、その時に必要とされる改善を順次進めて行きます。

地域中小企業支援の一環としての「IT 出前講座」

出前講座とは講師が出向いて実施する形式のITセミナーです。企業様と希望内容、日時などについて打ち合わせの上実施しますので、ご要望に合わせたセミナーの実施が可能となります。基本的に松本市内の中小企業様対象で1企業様に対し、年度内で2回まで（1回あたり2時間程度）を無料で実施する事ができますので、まずはご相談ください。

今期実績として5月に「DX 先進企業との意見交換会」、7月と9月の2回に分けて「Jw_cad 習得初級編」を実施しました。

1) DX 先進企業との意見交換会

DX 推進に悩む企業の経営層や推進責任者を対象に、先進企業の成功事例やノウハウを共有する出前講座を開催しました。本講座では、先進企業のDX 取り組みなど、具体的な事例を交えながら、DX 推進の成功に必要な要素や、よくある課題とその解決策について説明と意見交換が行われました。参加人数は先進企業：社長含む3名、依頼企業：DX 推進役員含む4名。

質疑応答の時間には、「自社のDX 推進における最大の課題は何か」「先進企業はどのように社内の抵抗を乗り越えたのか」など、活発な意見交換が行われました。参加企業からは、「自社の課題解決に直結するヒントを得られた」「先進企業の成功事例からは学ぶことが多く、今後の活動に活かしたい」など、非常に好評なコメントもいただき、本出前講座の有効性が実証されました。

今後も、DX 推進における様々な課題を抽出し、企業間で知見を共有できるような場を継続的に提供することで、より多くの企業のDX 推進を支援していきたいと考えています。

2) Jw_cad 習得初級編

Jw_cad は、建築分野で人気の高い無料の設計ソフトウェアです。特に、図面を作成する際に役立つ機能が豊富に揃っているため、多くの建築関連会社で利用されています。松本にある木材・住宅建築関連の企業からも、Jw_cad の操作スキル向上を望む声が寄せられました。そこで、2時間の講習を2回（8人/7月、5人/9月）、下記の内容で外部講師による出前講座を企画し実施しました。



- ・基本操作：
図面の作成、保存など
- ・図形作成：
線、円、矩形など、図面の基本となる図形の作成方法
- ・レイヤー管理：
図面を整理するためのレイヤーの活用方法
- ・寸法記入：
図面の寸法記入する方法

これらの基礎的な操作を習得することで、CAD 検定4級レベルの課題を作成できることを目標としました。講習では、図面の作成に必要な基本操作を解説し、実習を通して理解を深めました。参加者の皆様からは、「基本操作が良く分かった」「もっと多くの機能を勉強し業務に活かしたい」といった声をいただき、好評でした。

今後も、より高度な操作や、実務に役立つ機能を学ぶための講習を企画していく予定です。

DX 推進に向けたデジトレ診断の活用

昨年度より、自社のデジタル化状況を客観的に評価し、DX 推進の課題を明確にする為の「デジトレ診断」の活用を開始いたしました。本診断を通じて、自社の強み・弱みを可視化し、最適な DX 推進活動に役立てることができます。

今年度、この「デジトレ診断」に、中小企業に必要な「デジタル活用スキル」に関する新たなコンテンツが追加されました。このコンテンツは、IT コーディネータ協会の有識者が中心となり、中小企業が DX を成功させるために必要な 55 種類のスキルを体系的にまとめたものです。例えば、「社外に魅力を伝える人材」⇒「組織の「伝える力」を伸ばすスキル」、「ツール導入を推進する人材」⇒「デジタルツールの導入を推進するスキル」といった、日々の業務に役立つスキルが網羅されています。デジタル化目標達成の為には、社員のデジタルスキル向上は不可欠です。本コンテンツを活用することで、自社に必要なスキルを明確化し、デジタルスキル向上への取り組みに役立つことができます。

スキル UP の具体例 →

スキル UP の PDCA →

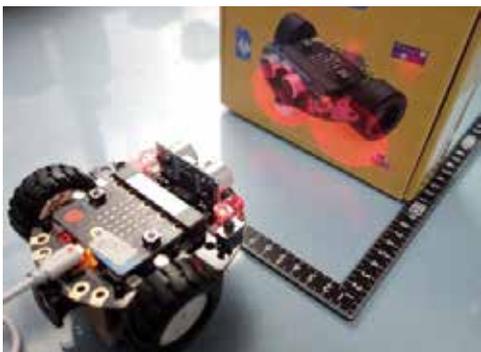
55 種のスキル定義

出典「ITCA テーマ研究活動【S22001】
中小企業デジ活スキル

子供プログラミング教室 ～ロボットカー・プログラミング～

夏休み期間中、小中学生を対象に新たに Makecode(Micro:bit + Tiny:bit) を用いたプログラミング教室を実施しました。参加者たちは、ブロックを組み合わせるように直感的に操作できる Makecode で、ロボットカー操作をプログラミングし、ロボットカーに搭載している超音波センサー、赤外線センサーを制御することで、障害物検知やライントレース等を体験しました。

これを通じて、参加者はプログラミングの楽しさを実感するとともに、論理的思考力や問題解決能力を養うことができました。今後も様々なプログラミングツールを取り入れ子供たちの創造性を育む活動を展開していきます。



3 サザンガクからのお知らせ

サザンガクは、2019年11月にオープンした地域のICT支援拠点です。どなたでもご利用いただける自由なワークスペース「コワーキングスペース」、新規創業や地域進出の拠点となる「サテライトオフィス」、企業の人材不足と働き手をつなぐ場「テレワークオフィス」の3つの機能で、松本エリアのビジネス活性化をめざしています。

サテライトオフィス

デジタル技術分野をはじめとする創業や企業誘致の場として、全16区画をご用意しています。空き状況は、サザンガクまでお問い合わせください。

<サテライトオフィス使用料 ※税・共益費込>

- ・個人ブース：月額17,000円
- ・複数人区画：月額43,500円～（区画の規模により異なります）



テレワークオフィス

採用コスト、社員の流出、人手不足にお困りではありませんか？

事業者の皆さまのアウトソース先として、バックオフィス業務から、各社の固有業務まで幅広く対応いたします。

- ・登録ワーカー60名以上
- ・プライバシーマークを取得した万全のセキュリティ体制
- ・専任のディレクターが業務設計から構築・運用までのワンストップ提供
- ・課題やゴールに応じて、最適なBPO・アウトソーシングサービスをご提案



<主な受注業務>

- | | |
|----------------|---------------|
| ・バックオフィス業務 | ・校正 |
| ・Webサイト制作、更新作業 | ・資料作成 |
| ・広告、バナーデザイン | ・動画作成 |
| ・データ入力 | ・SNS運用 |
| ・データ加工 | ・ECサイト運用 |
| ・キャンペーン事務局 | ・CAD図面作成 etc. |

案件の大小、スポット・継続に関わらず様々な業務を請け負っております。まずはお気軽にご相談ください。

コワーキングスペース

コワーキングスペースでは、落ち着いたワークスペースや集中ブース、ミニ会議室、壁面のホワイトボード、リラックススペースなど、様々な働き方をする方それぞれにピッタリな空間を提供いたします。

時間単位でのご利用も可能ですので、ぜひお気軽にご利用ください！

<コワーキング料金表（税込）>

ドロップイン	
2時間	500円/学生250円
1日	1,000円/学生500円
定期会員	
一か月	10,000円（税込）

<コワーキング設備>

- ・Wi-Fi
- ・プリンター複合機（別料金）
- ・モニター貸出
- ・ホワイトボード
- ・シェアキッチン etc.



<サザンガクのセミナーにご参加ください！>

サザンガクでは、働く方のスキルアップ、業務効率化につながる様々なセミナー、ワークショップを開催しています。無料で受講いただけますので、ぜひお気軽にご参加ください。最新の開催予定は、サザンガクのホームページ、SNSをご参照ください。また、企業への出前講座もお引き受けしますので、ご希望の場合はご相談ください。

<過去の開催実績（抜粋）>

- ・ChatGPT ワークショップ
- ・Canva デザイン講座
- ・採用にも役立つ web マーケティングセミナー
- ・初めての Notion 講座
- ・データビジュアライゼーション講座
- ・SNS 運用セミナー etc.



お問い合わせ

〒390-0874 松本市大手3丁目3番9号 サザンガク
電話：0263-33-0339 メール：info@33gaku.jp

4 補助金のお知らせ

ものづくり事業者の皆さんへ様々な助成、補助制度を用意しています。詳細については、商工課工業振興担当までお気軽にお問い合わせください。

中小 地域中核

製造業等活性化支援事業助成金

大学等研究機関との共同研究や新分野への進出等企業の新たなチャレンジを支援します。



- ◇産学共同研究事業・新産業創出事業の場合
助成率 1/2 限度額 100万円 1事業3回まで
- ◇地域中核企業*が上記事業を行う場合
助成率 2/3 限度額 300万円 1事業3回まで

中小 地域中核

製造業等販路拡大支援事業補助金

展示会の出展や海外向け EC サイトの開設に際し、その費用の一部を補助します



- ◇国内向け
補助率 10/10 限度額 25万円
- ◇海外向け
補助率 10/10 限度額 50万円
地域中核企業*の場合は限度額 100万円

改正

中小

製造業等人材育成事業補助金

人材のスキルアップに係る研修費用の一部を補助します。



- 補助率 1/2 限度額 2.5万円 (人材1名につき)
1事業者合計 10万円まで

R6～
対象となる
研修を拡充!

地域中核

地域中核企業支援事業補助金

地域中核企業*が事務所・工場等々を新・増設する場合、その費用の一部を補助します。

- ◇施設等整備事業
補助率 1/10 限度額 500万円
- ◇施設等設置事業
3年間分の固定資産税相当額 限度額なし
(施設等整備事業を活用し取得したものに限り)

ヘルスケアサービス等実用化 検証事業助成金

ヘルスケアサービスに係る実用化検証を行う場合、その費用の一部を補助します。



- 助成率 3/4 限度額 100万円 1事業3回まで

中小

空き工場等活用事業補助金

市内の空き工場を活用し、製造や新製品開発等を行う場合、賃借料の一部を補助します。



- 補助率 1/2 限度額 96万円 (8万円/月×12か月)

中小

外部人材活用促進事業補助金

経営改革*¹のために外部人材*²の雇用等を行う場合その費用の一部を補助します。



- ※1 新製品・新技術の開発、新分野への進出、デジタル化・脱炭素化の推進等により、企業の成長促進を図ること
- ※2 市外に住所を有し、事業開始前に、補助を受ける事業者による雇用等が行われていない者

- ◇外部人材に係る給与等
補助率 1/2 限度額 90万円 (15万円/月×6か月)
- ◇外部人材に係る滞在費
補助率 1/2 限度額 10万円
※合計 100万円まで

「地域の人事部」
または、「信州100年企業
創出プログラム」への
参加が必要です!

脱炭素型大規模投資支援事業補助金

ゼロカーボン産業に取り組むために必要な建物の新設・増設・移設、償却資産の取得をするための大規模投資 (3億円以上) を行う場合、その費用の一部を補助します。



- 補助率 対象経費の3% 限度額 3,000万円

テレワークオフィス設置支援 事業補助金

松本市に新たに進出し、サテライトオフィスを設置する際、その費用の一部を補助します。



- ◇賃借料補助
①補助率 1/2 限度額 120万円 (10万円/月×12か月)
- ◇施設整備費補助
②改修費等 補助率 1/2 限度額 200万円
③備品購入費 補助率 1/2 限度額 20万円
※①～③合計 200万円まで

企業事務所誘致事業補助金

上場企業等が市内に新たに事務所を設置する場合、その費用の一部を補助します。



- ◇取得の場合
3年間分の固定資産税相当額 限度額 1,000万円
(中心市街地の場合、5年分 4年目以降 600万円)
- ◇賃貸の場合
補助率 賃借料の1/2 限度額 800万円 3年間
(中心市街地の場合、5年分 4年目以降 400万円)

お問い合わせ:

松本市役所商工課 工業振興担当 /
健康産業推進担当

TEL:34-3270 FAX:34-3008 /

TEL:34-3296 FAX:34-3297

〒390-8620 松本市丸の内3-7

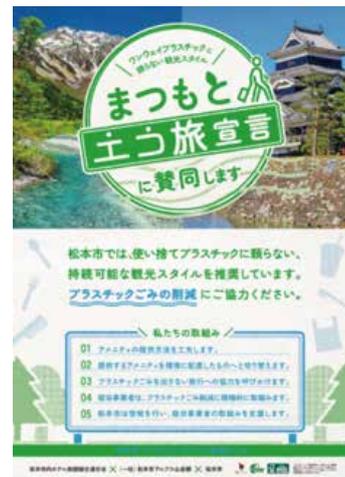
MAIL:shoukou@city.matsumoto.lg.jp /

kenkou-sangyou@city.matsumoto.lg.jp

※地域中核企業…地域未来牽引企業、県から地域経済牽引事業計画の承認を受けた企業等

松本市環境エネルギー一部環境・地域エネルギー課からのお知らせ 「松本市特定プラスチック転換支援補助金」を創設しました！

事業者による脱プラスチックの取組みを促進するため、プラスチック使用製品から代替製品へ転換する経費を支援します。



対象者

- ▶まつもとエコ旅宣言の発出団体に加盟している宿泊事業者
- ▶各種商品小売業、飲食料品小売業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業又は洗濯業 のいずれかの事業を営んでいる者

まつもとエコ旅宣言

令和4年11月14日に、松本市内ホテル旅館組合連合会、一般社団法人松本市アルプス山岳郷及び市が、地域全体で使い捨てプラスチックに頼らない観光地となるよう取り組んでいくことを宣言しました。

補助対象事業

商品やサービスの提供に併せて顧客に無償で提供するプラスチック使用製品を、プラスチック代替製品に新たに転換すること

※ 既にプラスチック代替製品を使用している場合は対象外
ただし、既存のプラスチック代替製品を、更なるプラスチックの削減につながる製品に転換する場合は対象となります。

プラスチック使用製品とは

以下の特定プラスチック使用製品 12 品目

- ①フォーク ②スプーン
- ③テーブルナイフ ④マドラー
- ⑤飲料用ストロー ⑥ヘアブラシ
- ⑦くし ⑧かみそり
- ⑨シャワーキャップ ⑩歯ブラシ
- ⑪衣類用ハンガー ⑫衣類用カバー

プラスチック代替製品とは

- ア 一般社団法人日本有機資源協会のバイオマスマーク認定商品であって、当該協会が定めるバイオマス度が25パーセント以上のもの
- イ 日本バイオプラスチック協会のバイオマスプラマーク取得商品
- ウ 紙、木等を主たる素材とする製品
- エ アからウまでに類すると市長が認める製品

補助金額

転換後の製品の購入に要する経費と、転換前の製品の購入に要する経費の差額分全額。
ただし、下記の金額が補助限度額となります。

宿泊事業者

【施設の定員数】

- 20人以下 5万円 ●21人以上50人以下 10万円 ●51人以上 15万円

その他の事業者

5万円

その他詳細や申請書のダウンロード等については、ホームページをご確認ください。

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/51/147001.html>

お問い合わせ先

松本市役所 環境・地域エネルギー課

〒390-8620 松本市丸の内3-7 (東庁舎4階)

TEL : 0263-34-3268 E-mail : s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp



農畜産物販売促進事業補助金

産業力の向上及び地域活性化を目指して、生産及びその加工又は販売を一体的に行い、農産物の付加価値を高める取組みに対し、補助金による支援を行います。審査会委員には、販売戦略や販路開拓等さまざまな分野の専門家を招聘し、支援体制を強化しています。

「松本市地産地消推進の店」になることで、農業者以外の皆様もご活用いただける制度です。

※令和7年度から事業内容変更予定です。

補助対象者 (1)農業者、農業者で組織する団体又は農地所有適格法人
(2)市内で農産物直売所を経営する者
(3)松本市地産地消推進の店として登録された事業者

商品開発

補助対象経費：新たな商品開発に要する経費
(研究開発費、モニタリング費、パッケージ開発費)

補助率 1 / 2 上限額 100 万円

販路開拓 (対面)

補助対象経費：県外及び海外における販路開拓のための物産展への出展、直売所交流に要する経費
(出展負担金、デザイン費・印刷費・資材費・広告費・輸送費・旅費・装飾品借上料・筆耕翻訳料等)

補助率 1 / 2、出展負担金は 10/10 上限額 国内 25 万円、海外 50 万円

販路開拓 (ECモール 利用型)

新たにECモール（複数の事業者が出展又は出展している集合型のECサイト）へ出展し、地元農畜産物又は地元農畜産物を使用した加工品を販売することに要する経費
(ECサイト運営会社に支払う利用料及び手数料、撮影委託費、文章作成委託費・SEO対策)

補助率 1 / 2 上限額 20 万円

販路開拓 (ECサイト 構築型)

地元農畜産物又は地元農畜産物を使用した加工品を販売するECサイトを新しく構築することに要する経費
(ECサイト構築費・利用料、撮影委託費・文章作成委託費・SEO対策費)

補助率 1 / 2 上限額 30 万円

お問い合わせ：松本市役所産業振興部農政課 〒390-8620 松本市丸の内3番7号 TEL:34-3221

5 研究開発室(205号室)入居者募集のお知らせ

一般財団法人松本ものづくり産業支援センター

一般財団法人松本ものづくり産業支援センターでは、
当センター2階研究開発室(205号室)の入居者を募集します。

- (1) 所在地
長野県松本市和田 4010-27
- (2) 募集対象区画
2階 205号室(52㎡) 1室
- (3) 使用料
月額 80,080 円及び共益費 5,000 円
(いずれも消費税込み)
光熱水費は実費負担

※入居条件等詳しくは、下記までお問い合わせください
一般財団法人松本ものづくり産業支援センター
〒390-1242 長野県松本市和田 4010-27
電話 0263-40-1000 FAX0263-40-1001
E-mail : info@m-isc.jp



センターNEWSやメールマガジンのお申し込みはこちらから

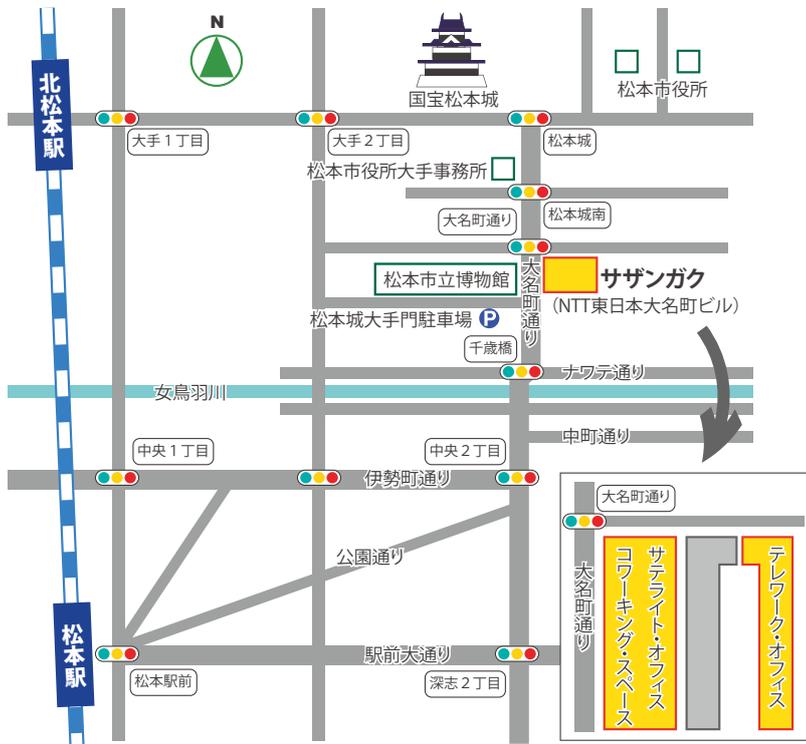
一般財団法人

松本ものづくり産業支援センター

〒390-1242 長野県松本市和田 4010-27

☎ 0263-40-1000 FAX : 0263-40-1001

HP : <https://www.m-isc.jp/>



コワーキングスペースのご利用案内

開館：平日 午前 10 時～午後 7 時

ご利用料金：(税込)

ドロップイン 500 円 / 2 時間

1,000 円 / 日

月会員 10,000 円 / 月



サザンガク

matsumoto collaboration space

〒390-0874 長野県松本市大手 3-3-9

☎ 0263-33-0339 FAX : 0263-33-0305

HP : <https://33gaku.jp/>

- コワーキングスペース
- サテライトオフィス
- テレワークオフィス